

幸市民館 平和・人権学習 さいわいピースセミナー04 「世界がもし100人の村だったら」

研 座 演 講 資 映 他 体 ワ

川崎市教育委員会
川崎市教育委員会生涯学習推進課
TEL 044-200-3304

実施年月日 実績等	実施年月日：平成17年1月15日(土)～3月19日(土) (全8回) 参加人数：18人(のべ41人)
主催(共催)	川崎市教育委員会
開催場所	幸市民館
対 象	関心のある方(小学生以上・小学生は親子で参加)
人権課題	人権全般

事業の目的

近年、世界のあちこちで「民族紛争」、「地域紛争」などが起こり、テロへの脅威などから国際的には多くの人権問題が発生している。そうした状況下で、私たちは、平和で豊かで安心して暮らせる社会を築くために、どのように行動するべきか。戦争体験のない世代や子どもたちに対し、平和について伝え、関心を持ってもらうことを目的として、この講座を開講した。とくに自分たちの生活に身近なことから、平和について考えられるようなテーマで構成し、幅広い世代の市民の参加を促すように努めた。

事業概要

以下の通り、全8回のプログラムで構成した。

1. ワークショップ体験・世界がもし100人の村だったら

ワークショップを通じ、現在、世界で何が起きているのかを知る。

講師：西あいさん(開発教育協会)

2. 「世界がもし100人の村だったら」から考えよう

前回のワークショップを受け、世界の現状と、私たちの生活や日本を考える。

講師：上村英明さん(恵泉女学園大学教授・市民外交センター)

3. なぜ争うんだろう①

ワークショップを通じ、戦争や紛争がなぜ起こるのかを考える。

指導：田村祐子さん(日本国際ボランティアセンター)

寺西澄子さん(日本国際ボランティアセンター)

4. なぜ争うんだろう②

前回のワークショップに続き、世界各地の紛争や戦争について、事例報告を交えて考える。

指導：田村祐子さん(日本国際ボランティアセンター)

寺西澄子さん(日本国際ボランティアセンター)

5. 新聞をどう読んでいますか?①～マスメディアと私たち～

報道が私たちに伝えられるまでのプロセス、また報道の及ぼす影響を考える。

講師：服部孝章さん(立教大学教授)

6. ワークショップ体験・新聞をどう読んでいますか?②

メディアと市民との関係を、ワークショップを通じて検証する。

講師：西村寿子さん(NPO法人FCT市民のメディアフォーラム理事)

7. 平和を伝えるためには～戦争体験者から私たちへ演劇をとおして伝える～

体験者の話を聴き、戦争について自分の立場で考える。

朗読者：岩淵綾子さん、ほか2人

8. 多くの人々が平和に暮らしていくためには?

講座を通して感じたことを話し、意見を聴き、市民ができることを考える。

講師：上村英明さん(恵泉女学園大学教授・市民外交センター)

特色・工夫した点

○平和について市民の立場から考えるために、ワークショップを頻繁に開いた。

○平和や人権について考える場を増やすために、年4回、平和映画会やパネル展(空襲や被爆、沖縄について)を実施した。

○講師陣に全体の構成を理解していただき、同じテーマでも角度を変えて取り上げたことで、複合的な視点を持てるように工夫した。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

○次のような感想が参加者から寄せられた。

「ワークショップ方式の学習は初めてだったが、『みんなで考える』というやり方が新鮮であり、勉強になった。テーマごとに参加者の意見を聞けるのは、普段発言しない人にも発言の場を与える上でよいと思う。西さんの進行もよかった」

(第1回)

「パレスチナの人が日本に来て「どうしてホームレスがいるのか?パレスチナにはいない」この言葉に人が暮らす社会というもののあり方について考えてしまいました。イスラエル側の特に平和活動している人々の話をもっと聞きたい」

(第4回)

「メディアの発展やいろいろな情報操作で社会が動かされている。そのことに対し、憂えている市民、国民に対して、どう向き合ったらいいのかを聞きたい」(第5回)

○参加者には、もともと、平和や人権についての知識や関心がある人が多かったが、ワークショップをはじめとした手法により、市民同士が話し合い、さらなる理解や知識を深める学習が展開できたと考えている。

○参加者がグループになって自主企画事業を提案するなどの発展が見られた。

○夏休み期間の平和映画会パネル展示は、文化センター(図書館・市民館)の一般利用者が観覧し、アンケートへの回答を得るなど、とくに若い方の関心を呼んだ。

反省点・今後の課題

○参加者が少なかった。ただ、30代の女性は、環境に関心を持つ人などの参加があった。

○内容を親子向けにするなど、学習方法に工夫の余地がある。



事前に募集した際に配布したチラシ